

TIRCLIMBER

EW-2030D

EW-2030DM

取扱説明書



警告

- お使いになるお客様に，必ずお渡しください。
- お使いになるお客様は，必ずお読みください。

チルクライマーをご使用になる前に

この度は、チルクライマーをご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
厚く御礼申し上げます。

当製品の安全対策には、十分気を付けておりますが、お客様がより安全に、また製品を有効
にご活用頂くため、そして末永くご愛用頂くためにも、チルクライマー取扱説明書を熟読され、注意事
項を守り、正しくご使用下さい。

注意事項等の前には



取扱いを誤った場合に、使用者および第三者が死亡又は重傷を負
う危険の状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の
緊迫性（切迫の度合い）が高い限定的な場合（高度な危険を含む）。

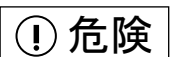
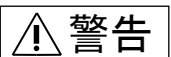


取扱いを誤った場合に、使用者および第三者が死亡または重傷を
負う危険の状態が生じることが想定される場合。



取扱いを誤った場合に、使用者および第三者が重傷を負うかまた
は物的損害が発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

を表示区分してあります。ただし  表示であっても、ご使用方法によっては

 **危険**  **警告** と同様の結果が発生する恐れがありますので、いずれについ
ても必ずお守りください。

使用上の注意

1. 取扱い全般

 警告	● 取扱説明書を熟知していない人は操作しないでください。 ● 取扱説明書を熟知していても法定の運転資格等が必要な場合、運転資格のない人は運転しないでください。また、運転させないでください。 ● 作業開始前の点検および、定期自主検査は必ず行ってください。 ● チルクライマーは、アルミ合金鋳物ケースでできております。絶対に、当てたり・落としたり・曲げたりしないでください。 ● 人の吊上げ・吊下げ用ウインチとして使用しないでください。
---	--

2. 使用及び保管

 警告	● 下記のような場所での使用および保管はしないでください。 野ざらしの状態 雨・水・雪などのかかる場所 － 10℃以下の低温・40℃以上の高温・90%以上の高湿の場所 酸や塩分の多い場所 有機溶剤や爆発性粉塵などのある場所 一般粉塵の多い場所
---	---

3. 移動・取付けおよび取外し

 警告	● 専門業者・専門知識のある人以外は行わないでください。 ● 電気配線時および電源接続・取外し時は、必ず元電源を遮断してください。
---	---

 注意	● 自重は、約 145 kg です。状況に応じた吊り具を使用してください。
---	---

4. 運転と操作

 警告	● 最大能力以上絶対にかけないでください。 ● 地球吊り（建て物・構造物に引っ掛けること）をしないでください。 ● 専用ワイヤロープ以外使用しないでください。 ● 損傷しているワイヤロープ（素線切れ・キンク・バスケット等）は使用しないでください。 ● 損傷を受けたり、異音や異常振動するチルクライマーは使用しないでください。 ● 使用前に、必ず電磁ブレーキの作動確認を行ってください。 ● 吊り荷の下に、絶対に入らないでください。チルクライマー・ワイヤロープ・台付け部・荷物の周囲には立ち入り禁止の措置を取ってください。 ● 減速機部は、運転を行うことにより非常に高温となります。冷却されるまでは触れないでください。
---	--

5. 保守点検及び改造

 警告	● チルクライマーの分解・組立は、絶対に行わないでください。 ● 改造は、絶対に行わないでください。（付属品含む。） ● 指定部品以外は使用しないでください。 ● 保守点検は、事業者が認めた専門知識のある人が行ってください。 ● 保守点検は、電源を遮断してから行ってください。 ● 保守点検で異常があった場合は使用せず直ちに補修してください。 ● 分解・組立てをとまなう保守点検項目は、必ず当社へご依頼ください。
---	--

目 次

1. 用途	5
2. 各部の名称	6
3. 用語の説明	7
4. 外形寸法図	8
5. 仕様表	9
6. 取付け方法	10
6-1) チルクライマーの移動方法	10
6-2) チルクライマーの取付け	11
6-3) 電気配線	15
7. ワイヤロープの挿入方法	16
8. 取付け後の確認	18
9. 試運転および運転	19
9-1) 試運転	19
9-2) 運転	19
10. ワイヤロープの抜き取り方法	20
11. 使用上の注意事項	21
12. ワイヤロープおよび潤滑油	22
13. ワイヤロープ先端形状	23
14. 故障と対策	24
15. 交換基準	26
16. 点検内容および処置	28
17. 電気配線図	29
作業開始前点検表	30
定期点検表	31

1. 用途

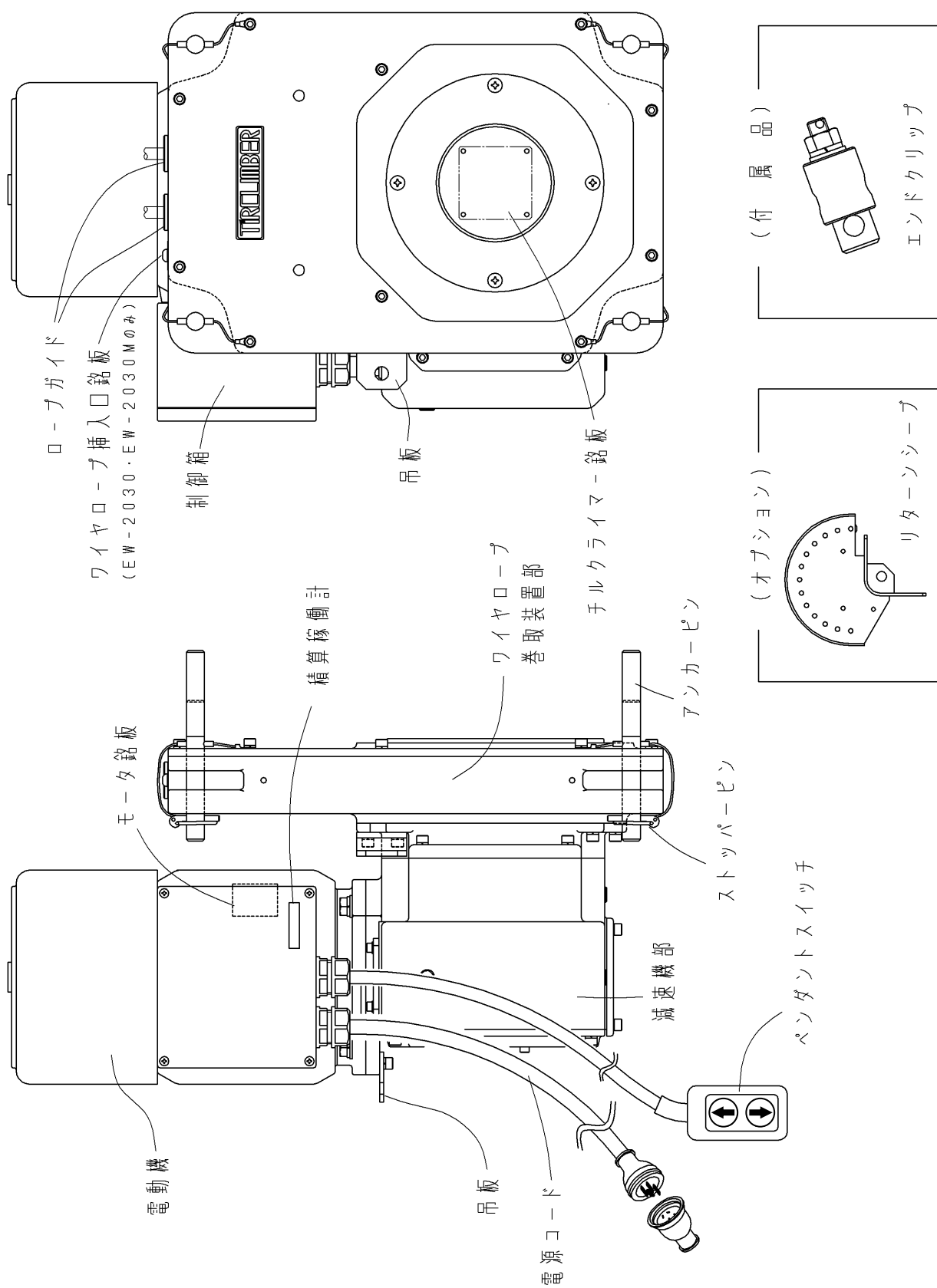
本チルクライマーは、荷物の昇降および牽引に用いるウインチです。人の吊上げ・吊下げ用ウインチとしては使用しないでください。

また、本チルクライマーの使用において各法令の規則がある場合は、法令を遵守してください。



- チルクライマーが各法令に適合しない時は使用しないでください。
また、各法令に適合させるためにチルクライマーを改造しないでください。
- チルクライマー本体に改造を必要とする時は必ず当社にご相談ください。

2. 各部の名称



3. 用語の説明

[ワイヤロープ巻取装置部]・・・摩擦巻胴式（エンドレス式）のワイヤロープを巻取るドラム等が収納されている部分です。

[減速機部]・・・オイルバス方式のウォーム・平歯車減速機が収納されている部分です。

[電動機]・・・電磁ブレーキ付の三相誘導電動機です。

[ロープガイド]・・・ワイヤロープを差込む側またはワイヤロープの出口側のガイドです。

*どちらのロープガイドよりワイヤロープを差込んでも巻取りできます。

[アンカーピン]・・・チルクライマーを固定するためのピンです。（4本あります。）

[ストッパーピン]・・・アンカーピンの抜止め用のピンです。

[チルクライマー銘板]・・・チルクライマーの基本的な仕様が記されています。

[モータ銘板]・・・電動機の基本的な仕様が記されています。

[吊板]・・・チルクライマーを吊り上げて移動させる時に使用する吊り具です。

2種類の吊板が装備されていますので状況に応じて使い分けてください。

[ペンダントスイッチ]・・・チルクライマーを操作するためのスイッチです。

[電源コード]・・・チルクライマーを動かすための電源供給用のコードです。

[制御箱]・・・マグネットスイッチ、サーマルリレー等が入っています。

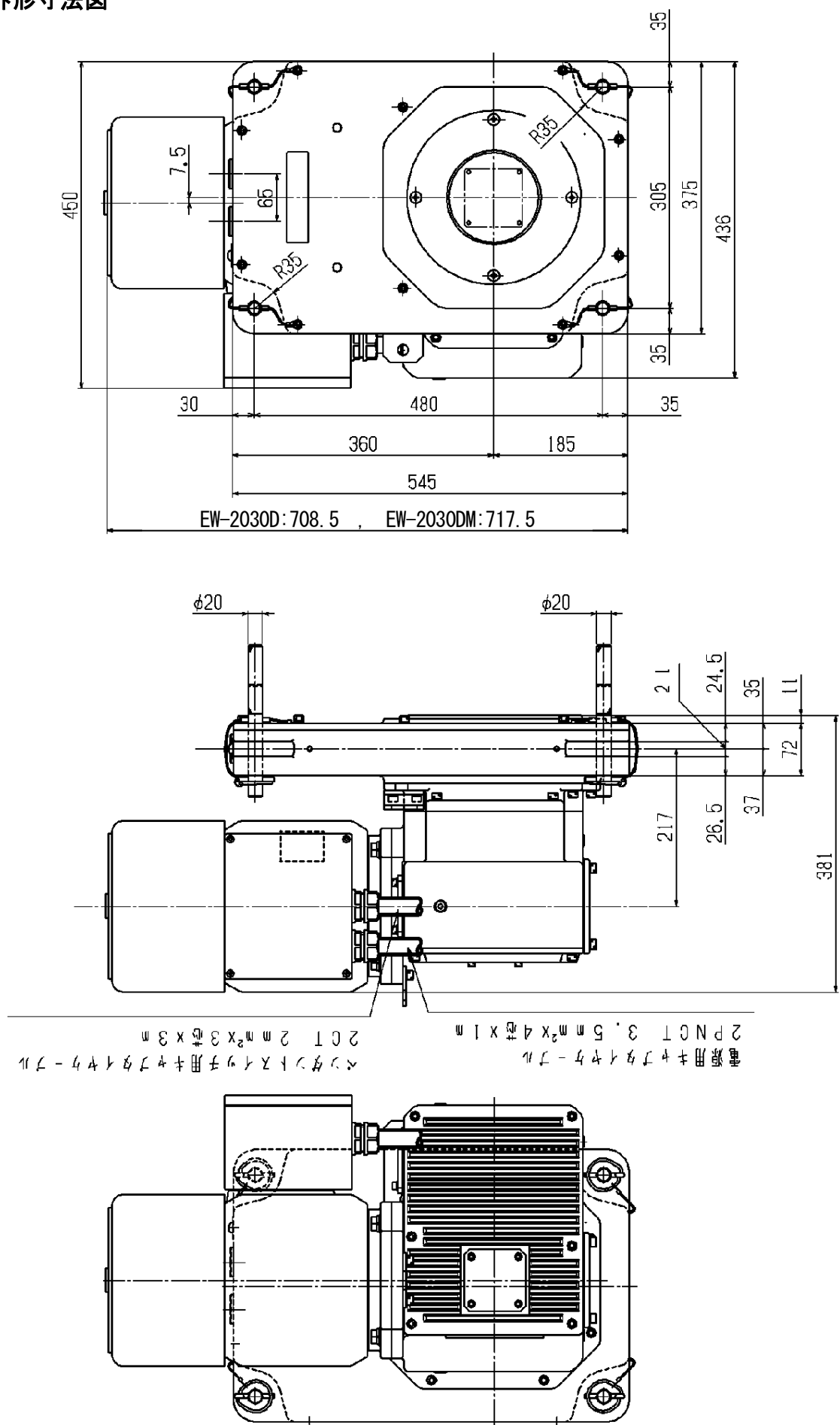
[積算稼働計]・・・チルクライマーの累積稼働時間を表示します。

[エンドクリップ]・・・ワイヤロープ先端が不用意にチルクライマーから抜け出さないための抜止め防止金具です。

*ワイヤロープ先端に取付けます。

[リターンシーブ] (オプション)・・・巻き取ったワイヤロープがからまないように処理するためのものです。

4. 外形寸法図



5. 仕様表

名称		チルクライマー	
型式		EW-2030D	EW-2030DM
能力		2000kg	
定格速度	50Hz	4.1m/min	7.8m/min
	60Hz	5.0m/min	9.5m/min
定格時間		30分	
ドラム径		255mm	
電動機	出力	2.8kW	4.8kW
	極数	6	4
	電源	3相交流, 200/220V, 50/60Hz	
	その他	屋内仕様	
電磁ブレーキ	制動トルク	40N-m	49N-m
ワイヤロープ	名称	モノロープ SP型	
	構成	4XF(40)	
	ロープ径	12.5mm	
	破断荷重	117.7kN	
	メッキの有無	無	
	その他	当社 特殊仕様品	
電源用キャブタイヤケーブル		2PNCT 3.5mm ² X4芯X1m	
ペンダントスイッチ用 キャブタイヤケーブル		2CT 2mm ² X3芯X3m	
減速機部潤滑油		昭和シェル石油 チペラオイル SD(460EP)	
付属装置		制御箱, 積算稼働計, エンドクリップ	

6. 取付け方法

6-1) チルクライマーの移動方法

吊り具（ワイヤスリング等）を、アンカーピン部あるいは吊板に取付け、吊り上げて移動させてください。



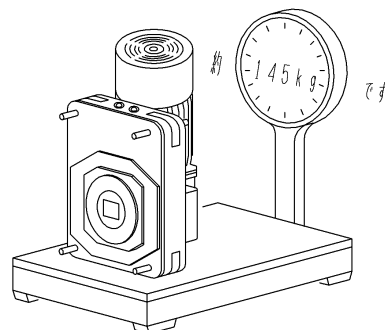
警告

- 強度不足の吊り具は使用しないでください。
- アンカーピンは、ストッパーピンにて必ず抜止めを行ってください。
- 吊上げる際は、重心位置に気を付けてください。



注意

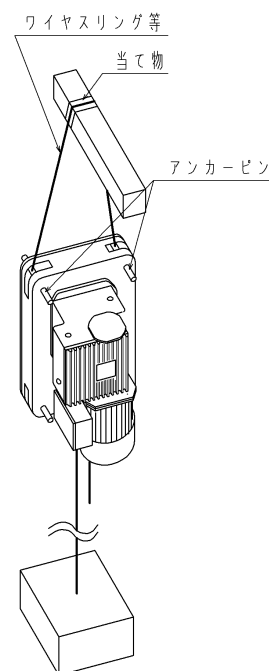
- チルクライマーを物に当てないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- 移動中は、チルクライマーから気をそらさないでください。



6-2) チルクライマーの取付け

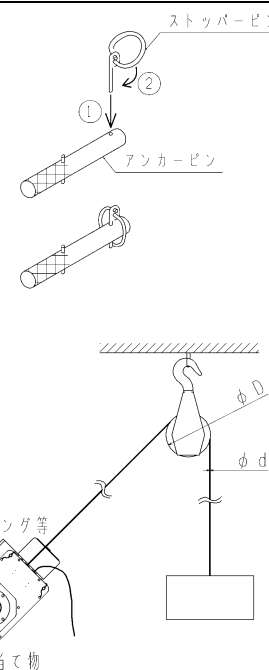
①ワイヤスリング等を用いてチルクライマーを台付けする場合

ワイヤスリング等を構造物あるいは荷物に巻きつけ、チルクライマーのワイヤロープ挿入口と反対側の台付け部にアンカーピン2本で固定してください。



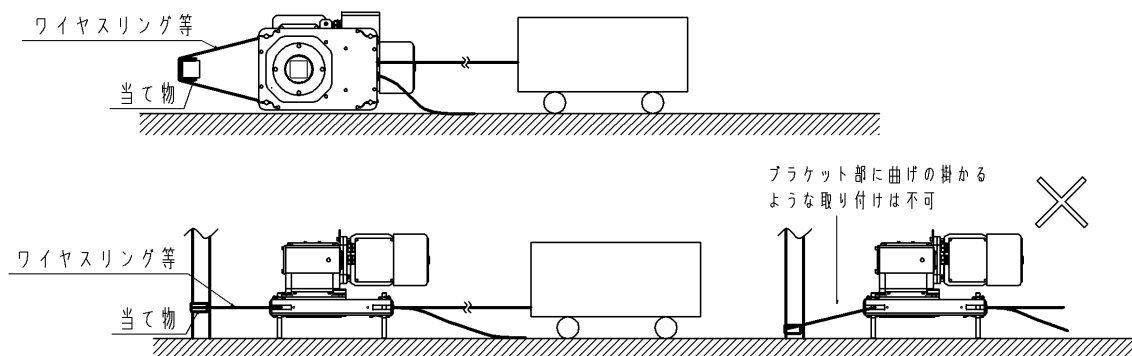
警告

- アンカーピンは専用のものを使用してください。
- 台付けの際、ワイヤスリング等をアンカーピンで取付けた後、ストッパーピンで必ず抜止めをしてください。
- ワイヤロープの途中で滑車を使用する場合には $D/d \geq 20$ の滑車を用いてください。
Dは滑車のピッチ円直径、dはワイヤロープ径です。
従って本チルクライマーで使用する滑車のピッチ円直径は、 $D \geq 250\text{mm}$ となります。
- ワイヤスリング等は異常（キンク等）が生じないように当て物を用いて養生してください。
- 台付けする構造物・ワイヤスリング等は、チルクライマーの能力の5倍以上の強度が必要です。
構造物・ワイヤスリング等の強度が不十分および不明な時は、チルクライマーを使用しないでください。



○チルクライマーを横向で使用する場合

下図のようにチルクライマーを取付けてください。



警告

- 台付けする構造物・ワイヤスリング等は、チルクライマーの能力の5倍以上の強度が必要です。
構造物・ワイヤスリング等の強度が不十分および不明な時は、使用しないでください。
- チルクライマーが直接に床の上を引きずられるような固定はしないでください。

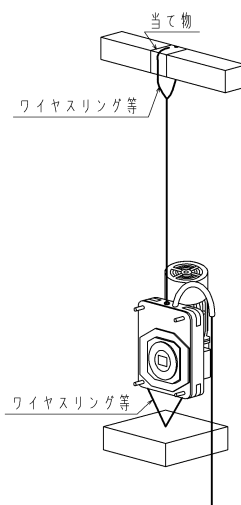
○チルクライマーを荷物に取付け昇降させる場合

先にワイヤロープを挿入する必要があるので、「6-3) 電気配線」、「7. ワイヤロープの挿入方法」、「9. 試運転および運転」をお読みください。



- チルクライマーを荷物に取付けて昇降させる場合、定格荷重からチルクライマーの自重等を差引いた重量が、昇降できる荷物の重量となります。

この時、ワイヤロープ・電源キャブタイヤおよびワイヤスリング等の重量もチルクライマーの自重に含めてください。



荷物の重量

$$= (\text{定 格 荷 重}) - (\text{チルクライマー自重}) - \left(\begin{array}{l} \text{キャブタイヤ} \\ \text{ワイヤロープ} \\ \text{ワイヤスリング等} \end{array} \right)$$

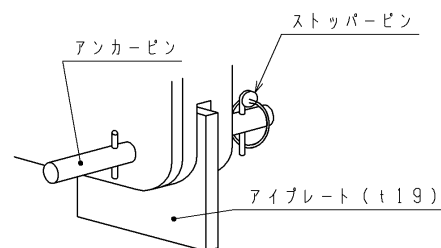
$$= (2000\text{kg}) - (145\text{kg}) - (\text{その他重量})$$

- 台付けする構造物・ワイヤスリング等は、チルクライマーの能力の5倍以上の強度が必要です。
構造物・ワイヤスリング等の強度が不十分および不明な時は、使用しないでください。
- 出てきたワイヤロープがスムーズに下方へ流れるようにリターンシーブ(オプション)・ガイドパイプ等(お客様手配品)を使用してください。
ワイヤロープどうしがからみあうと非常に危険です。

②アイプレートを用いてチルクライマーを固定する場合

取付けブラケット部（4箇所）にアイプレート（お客様手配品）を挿入します。

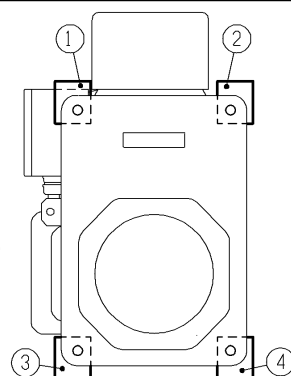
アンカーピンを差し込み結合します。アンカーピンにストッパーピンを差し込み、抜止めをしてください。



⚠ 注意

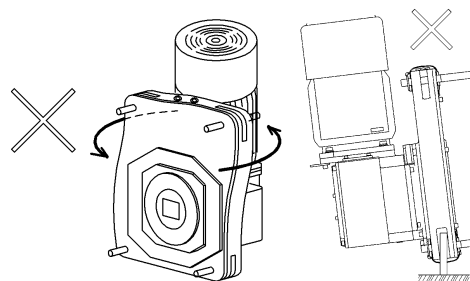
- アイプレートの製作においては、「4. 外形寸法図」を参照してください。
- アイプレートの板厚は、19mmを使用してください。
- アイプレートは、2個を取外し式にする必要があります。

$\begin{pmatrix} 1, 2 \\ 3, 4 \\ 1, 3 \\ 2, 4 \end{pmatrix}$ を取外し式。ただし、 $\begin{pmatrix} 1, 4 \\ 2, 3 \end{pmatrix}$ を取外し式にすると、
 チルクライマーの取付ができません。



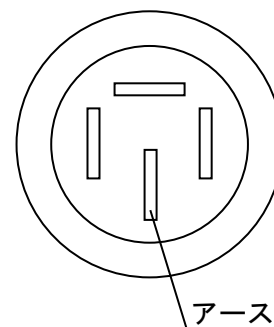
⚠ 警告

- アイプレートの他の寸法は、強度確認を行った上決定してください。また、アイプレート溶接の際は溶接強度に注意してください。
- アイプレートは、チルクライマーの能力の5倍以上の強度が必要です。
- 構造物・ワイヤスリング等の強度が不十分および不明な時は、使用しないでください。
- 取付け時、ブラケット部にねじり・曲げ荷重をかけないでください。
- チルクライマーに、ねじり・曲げの力がかかるような取付けは行わないでください。
- アンカーピンの代わりに、ボルトによる取付けは絶対に行わないでください。
 なお、専用アンカーピン以外での取付けも行わないでください。
- 取付け後は、ストッパーピンでアンカーピンの抜止めを必ず行ってください。



6-3) 電気配線

- 1) 付属のメスコネクタに電源コード（お客様手配品）を接続します。
特にアースを間違えないでください。
- 2) メスコネクタとチルクライマーの電源コードに取付けられている
オスコネクタを接続してください。



警告

- 電源は三相交流200／220V（50／60Hz）、25Aを用意してください。
- 電源の接続は必ず元電源を遮断した状態で行ってください。

以上で電気の配線は終わりですが、再度接続を確認してください。

7. ワイヤロープの挿入方法

ワイヤロープは、専用ワイヤロープを使用してください。

* ワイヤロープの先端形状が、23ページの適正な形状であることを確認してください。

いずれかのロープガイドへ、ワイヤロープを手で差し込んでください。(約30cm)

ペンダントスイッチの「↑」ボタンまたは「↓」ボタンを押してください。

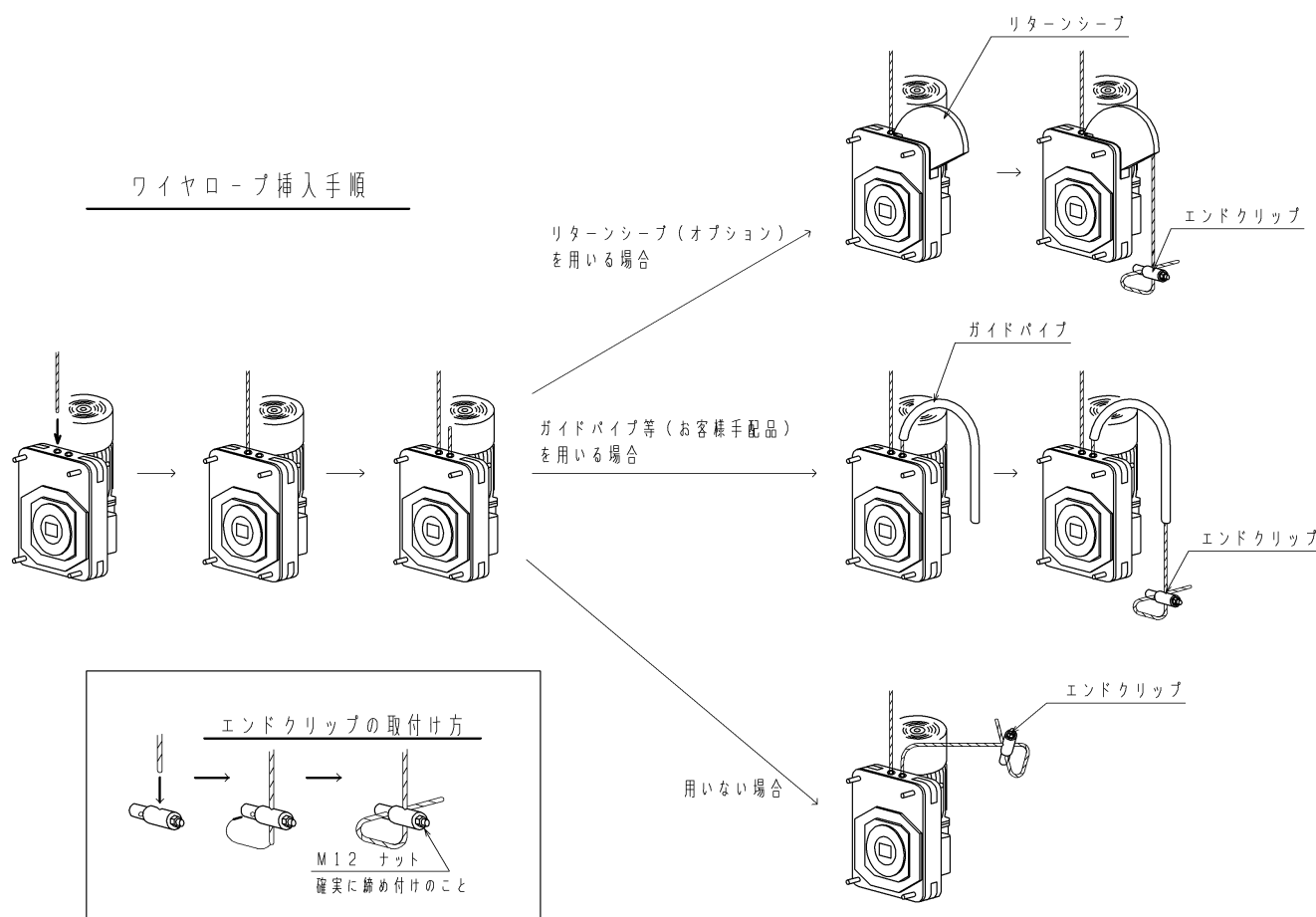
ワイヤロープが巻取られ、他方のロープガイドよりワイヤロープが出てきます。

出てきたワイヤロープが邪魔になる場合は、リターンシーブ（オプション）・ガイドパイプ等（お客様手配品）を用いて処理してください。ワイヤロープどうしが絡み合うと非常に危険です。

一方向でのみ使用する時（往復牽引しない時）は、出てきたワイヤロープの先端部にエンドクリップを取付けてください。

下図、ワイヤロープ挿入手順を参照してください。

*以上で、ワイヤロープのセットは終了です。



ワイヤロープがセットできない（出てこない）場合は

- * 対処 1) ワイヤロープを手で当たる所まで押し込んだ後、約 5 c m 引抜き、再度ワイヤロープを勢いよく手で差し込みます。その後モータを巻取り方向へ駆動させてください。
- * 対処 2) ワイヤロープを手で押し込みながら、モータを巻取り方向へ駆動させてください。強く押しすぎるとワイヤロープが形くずれしますので注意してください。
- * 対処 3) ワイヤロープを一旦抜き取り、ワイヤロープを約 9 0 ° 回し（自転）、位置を変えてから再度差し込み、モータを巻取り方向へ駆動させてください。
- * 対処 4) ワイヤロープの先端形状を、2 3 ページの図を参考に修正してください。
- * 対処 5) 以上の内容を行っても挿入できない場合は、メーカーへ連絡を行ってください。



- ワイヤロープが巻取られないためワイヤロープを無理に押し込まないでください。
内部でワイヤロープが形くずれを起こし、巻取ることも巻戻すこともできなくなる場合があります。
- ワイヤロープ挿入作業中、ロープガイドの穴部を覗き込まないでください。
突如、ワイヤロープが出てきて顔に当たる恐れがあります。
目に当たれば失明の恐れもあります。



- ワイヤロープ挿入作業中、ロープガイドとリターンシーブ・ガイドパイプ等の間に、手（指）を入れないでください。

8. 取付け後の確認

チルクライマーを取付けた後は、次の項目の点検を必ず行ってください。

定期自主検査

作業開始前の点検

* 各点検の項目は30～31ページの内容に従ってください。



- 各点検は必ず実施してください。
- 吊り上げ高さは、万一落下しても事故・災害にならない高さ以下にて行ってください。

9. 試運転および運転

9-1) 試運転

チルクライマーの点検が終わりましたら、試運転を行います。台付け部の安全を確認し、チルクライマー・ワイヤロープ・台付け部・荷物の周囲に人が入り込まないように立ち入り禁止の措置を取ってください。

チルクライマーの操作はペンダントスイッチの押しボタンで行います。

〔昇降〕・・・0. 5 m前後の高さで3回程度往復させ、台付け部・チルクライマーに異常がないか確認する。

〔牽引〕・・・0. 5 m前後牽引し、台付け部・チルクライマーに異常がないか確認する。
3回程度繰り返す。



注意

- EW-2030D、EW-2030DMの場合はワイヤロープの挿入口により、押しボタンの「↑」と「↓」が異なります。
主に巻上げで使用するほうが押しボタンの「↑」になるよう、電源の相を換えてください。または、ワイヤロープの挿入口を換えてください。

9-2) 運転

試運転で異常がなければ運転を開始してください。



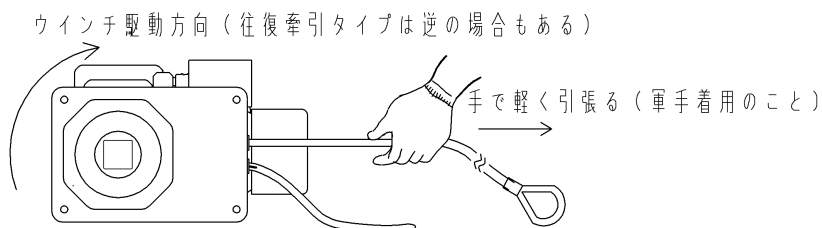
警告

- 各法令により運転資格等が必要な場合、運転資格のない人は運転しないでください。
また、運転させないでください。
- 押しボタンをクランプ等で保持することは危険です。
押しボタンから手を離してもチルクライマーが動くようなことは絶対にしないでください。
- 運転中は吊上げ物・牽引物から目を離さないでください。
また、周囲の状況にも注意してください。

10. ワイヤロープの抜き取り方法

チルクライマーの移動時や、ワイヤロープの交換時に行ってください。

- 1) エンドクリップを使用している場合は、エンドクリップを取外してください。
- 2) 荷物側（負荷側）のワイヤロープを手で軽く引張りながら、モータを巻戻し方向に駆動してください。

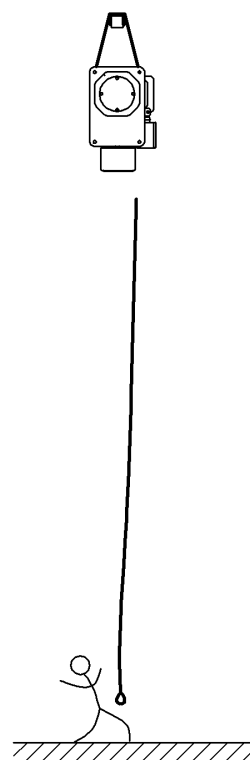


- 3) ロープガイドよりワイヤロープが抜ければ終わりです。



警告

- 巻戻し・巻取り操作を間違えないでください。
- 取外したエンドクリップを紛失しないでください。
- 抜き取り作業時、ワイヤロープを損傷（キンク・形くずれ等）させないでください。
- チルククライマーが高所に取付けられた状態でワイヤロープを抜き取る場合、ワイヤロープが地上に落下しないように注意してください。
- ワイヤロープを途中で切断して抜き取ることは行わないでください。



1 1. 使用上の注意事項

 警告	● チルクライマーは、32～33ページの各点検を行ってから使用してください。 ● ワイヤロープは、揚程に対し十分な長さのあるものを使用してください。 ● ワイヤロープに、下記の異常のあるものは使用しないでください。 異常のあるワイヤロープの使用は、破断あるいはスリップ・空転の原因となります。 素線切れしているもの キンクしているもの 形くずれしているもの 摩耗が著しいもの 腐食のあるもの ワイヤロープ固定部（止め部）に異常のあるもの ● チルクライマーおよびワイヤロープに溶接棒等を接触させないでください。 ● チルクライマーおよびワイヤロープにグラインダー等の刃物類を接触させないでください。
---	---

 注意	● 定格電圧以外では使用しないでください。 ● プラッキング（急逆転）や過度のインチング（寸動運転）はしないでください。 ● ワイヤロープの端末には、エンドクリップを取付けてください。 ● ワイヤロープ取扱い時に、キンク・形くずれを発生させないでください。 ● チルクライマーだけでなく、周囲の安全も確認してください。
---	---

12. ワイヤロープおよび潤滑油

本チルクライマーには、下記に示す指定のものを使用してください。

[ワイヤロープ]

	明細
直径	φ12.5mm
破断荷重	117.7kN (12ton)
構成	モノロープ SP 型 4XF(40) 特殊仕様品
メッキの有無	無



警告

- 指定ワイヤロープ以外は、絶対に使用しないでください。

[減速機用潤滑油]

名称	メーカー
チペラ オイル SD(460EP)	昭和シェル

*納入時は、本潤滑油を使用しています。

*本仕様の潤滑油以外は、絶対に仕様しないでください。

*潤滑油の油量は、5500cc です。

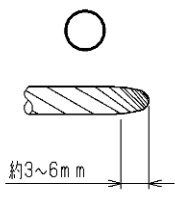


注意

- 他メーカーとの潤滑油の混合は行わないでください。

13. ワイヤロープ先端形状

[ワイヤロープ先端形状]

 約3~6mm	×	×	×
	×	×	×

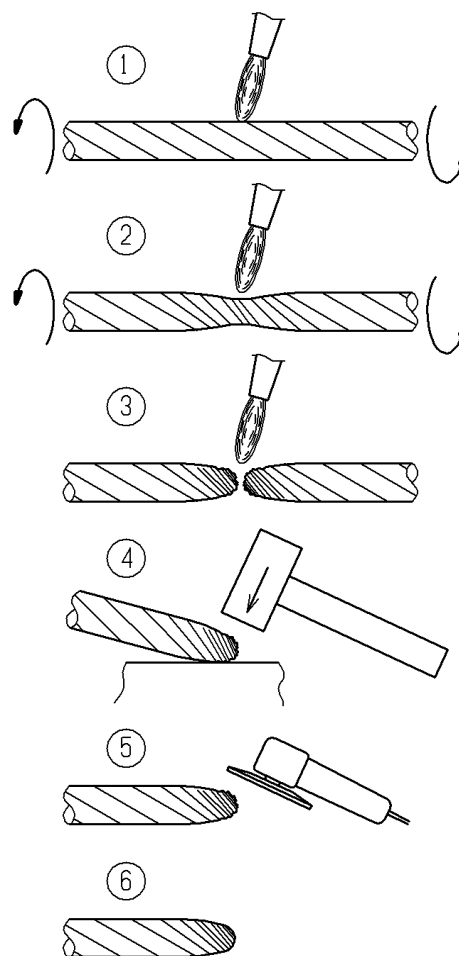
[ワイヤロープ先端修正方法]

*ワイヤロープをヨリの方向にねじりながらガス溶断します。（① ② ③）

（溶断部分は、各素線が溶け一体化していること。）

*溶断後、加熱状態のうちにハンマーで叩き先端部を丸めてください。（④）

*先端部をハンドグラインダー等で砲弾状に仕上げます。（⑤ ⑥）



警告

- ガス溶断の資格を持たない方は、行わないでください。
- 適切な保護具を着用してから行ってください。

14. 故障と対策

現象	原因	対策	
全然動かない	モータ不良	動力回路および電磁ブレーキ回路点検	
	減速機部破損	分解・点検→当社又はサービスステーションへ連絡	
	ベアリング部破損	分解・点検→当社又はサービスステーションへ連絡	
	ワイヤロープ噛込み	分解・点検→当社又はサービスステーションへ連絡	
	電気回路の異常	ケーブル断線・接触不良調査 →当社又はサービスステーションへ連絡	
	電源が遮断	電源を接続	
	サーマルリレーの作動 (過負荷, インチング)	自動復帰するまで、約15分待機する	
	マグネットスイッチ不良	分解・点検→当社又はサービスステーションへ連絡	
始動時間が長い うなり音が高い	電源電圧の低下	電圧の点検（定格の10%以内）	
	減速機部不良	歯車・軸受けの点検 →当社又はサービスステーションへ連絡	
	過負荷	負荷の調査	
	外気温が低いため	ならし運転する・潤滑油を温める	
異常に発熱する	潤滑油不足	給油	
	モータ不良	電磁ブレーキ点検 →当社又はサービスステーションへ連絡	
	過負荷	負荷の調査	
	連続運転	定格時間内で使用する（30分）	
	電圧降下	定格電圧を使用	

ワイヤロープが すべる (牽引しない)	ワイヤロープ不良	摩耗・損傷調査 →当社又はサービスステーションへ連絡	
	ワイヤロープ 把握部の摩耗	交換 →当社又はサービスステーションへ連絡	
	専用ワイヤロープを 使用していない	専用ワイヤロープを使用	
停止時にすべる	電磁ブレーキの摩耗	分解・点検 →当社又はサービスステーションへ連絡	
	電磁ブレーキに 異物(水分含む)混入	分解・点検 →当社又はサービスステーションへ連絡	
	ワイヤロープ 把握部の摩耗	交換 →当社又はサービスステーションへ連絡	
ワイヤロープが セットできない	先端形状が不適當	先端形状修正	
	曲がりや変形がある	真直ぐに修正 修正できないものは交換	
	モータの回転が逆	電気配線の修正	
	ワイヤロープ把握部 に異物混入	分解・点検 →当社又はサービスステーションへ連絡	

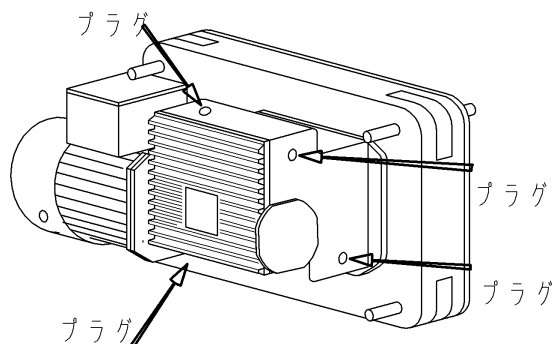
	警告	● 故障または異常が生じた場合は、即作業を中止してください。 また、故障の状況をメーカーへすみやかに連絡してください。
---	-----------	---

15. 交換基準

チルクライマーの累計稼働時間は、制御箱の積算稼働計に表示されます。
各交換の目安としてください。

〔減速機用潤滑油〕

- *初回は、25時間以内に交換してください。
- *2回目以降は、100時間または、1年毎に交換してください。
- *潤滑油の種類は、24ページを参照してください。
- *潤滑油の油量は、5500cc です。
- *交換作業はウインチ姿勢により、任意のプラグ部より「抜き取り」および「給油」を行ってください。



注意

- プラグを取付ける際、必ずシールテープを巻きつけてから行ってください。

[ワイヤロープ]

- *1よりの間において素線の数の10%以上（4本以上）の素線が断線しているもの。
（基本的には、素線切れが1本でも発生しておれば交換してください。）
- *直径の減少が公称径の7%（11.63mm）をこえているもの。
（基本的には、12.5mm以下のものは交換してください。）
- *キンクしているもの。
- *形くずれ又は腐食しているもの。
- *その他、異常が認められるもの。

[ローラチェーンキット]

- *約250時間以内に交換してください。
（交換作業は、必ずメーカーへ依頼してください。）

[平行キー]・・・モータ連結部

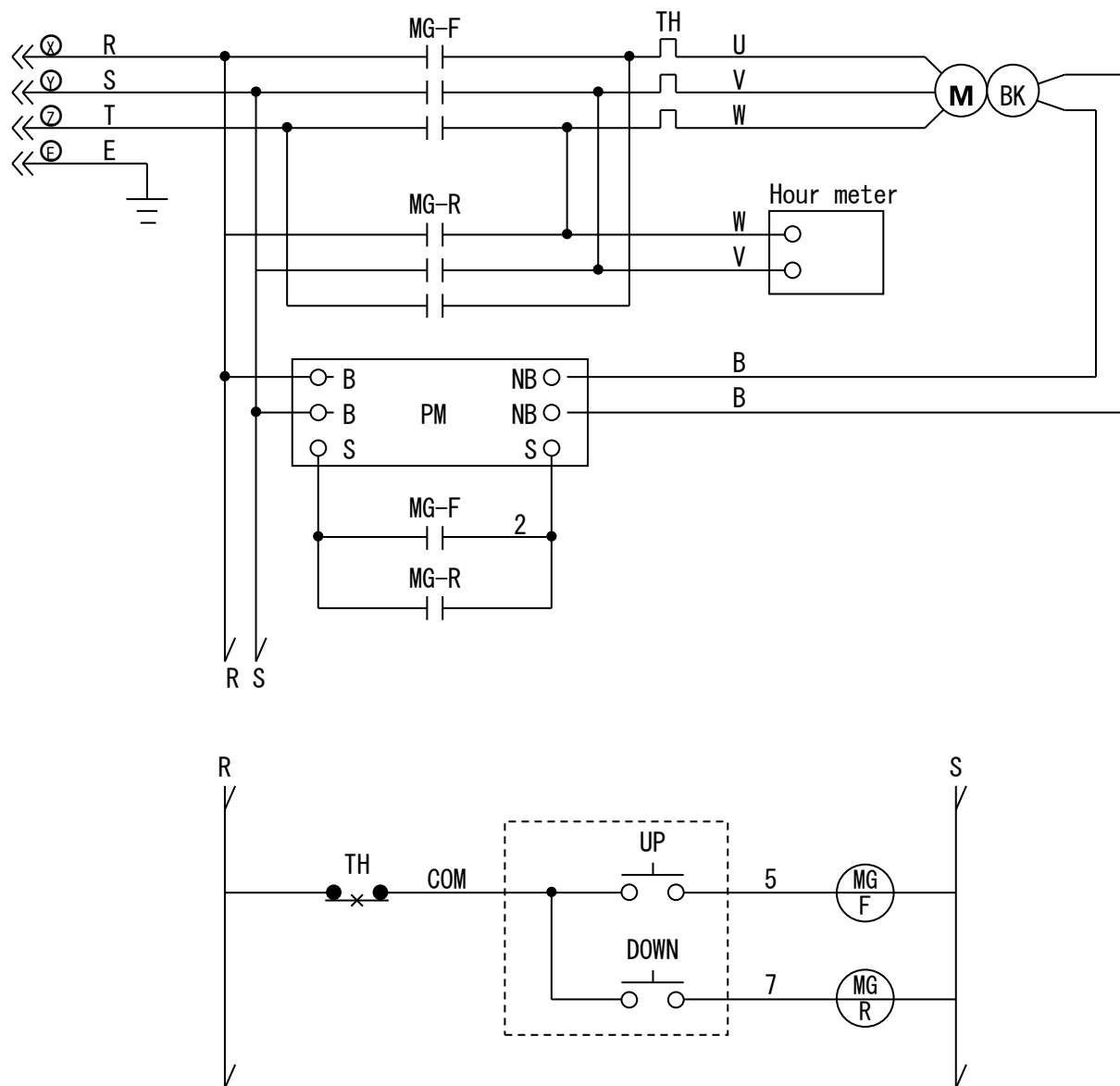
- *1年毎の点検において、損傷している場合は交換してください。
（交換作業は、必ずメーカーへ依頼してください。）

《以上、各交換基準を示しておりますが使用条件等により異なる場合があります。
必ず、1年に1回メーカーにて点検・整備を受けてください。》

16. 点検内容および処置

項目	点検場所及び方法	異常時の処置
ボルトの緩み 脱落等の有無	全てのボルト	締め付ける
油モレの有無	各ケース部品の合わせ面 からの油のにじみ	メーカーへ連絡 (基本的にはメーカーへ返送)
変形・亀裂 腐食等の有無	全て	メーカーへ連絡 (基本的にはメーカーへ返送)
異音及び異常な振動の有無	状況を確認 (できれば発生源確認)	メーカーへ連絡 (基本的にはメーカーへ返送)
電磁ブレーキの作動状態	確実に停止することを確認	メーカーへ連絡 (基本的にはメーカーへ返送)
エンドクリップ取付け有無	ワイヤロープ先端部	無い場合は、取付ける (紛失の場合は、メーカーへ手配)
ロープガイドの摩耗状態	各ロープガイド穴部 の異常摩耗	メーカーへ連絡 (基本的にはメーカーへ返送)
絶縁状態	動力及び操作回路	0.2MΩ 以下の場合は メーカーへ返送
キャブタイヤケーブル の損傷状態	キャブタイヤケーブル	補修又はメーカーへ返送
ワイヤロープの異常の有無	ワイヤロープ交換基準参照	専用ワイヤロープと交換 (メーカーへ手配)
ワイヤロープの巻取り状態	モータは回転しているが ワイヤロープを巻取らない	即時に作業を中止し メーカーへ連絡 (基本的には、メーカーへ返送) (使用中のワイヤもメーカーへ返送)
マグネットスイッチの作動状態	制御箱内	メーカーへ連絡 (基本的にはメーカーへ返送)

17. 電気配線図



チルクライマー：EW-2030D, EW-2030DM 作業開始前点検表

機体番号：

項目	月/年	月： / 年：																															備考
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ボルトの緩み 脱落等の有無																																	
変形・亀裂 腐食等の有無																																	
油モレの有無																																	
異音及び異常な振動の有無																																	
電磁ブレーキの作動状態																																	
エンドクリップ取付け有無																																	
ワイヤロープの異常の有無																																	
ワイヤロープの巻取り状態																																	
スイッチの作動状態																																	
チルクライマー取付けの異常の有無																																	
点検者印																																	
メモ																																	

チルクライマー : EW-2030D, EW-2030DM 定期点検表

機体番号 : _____

項目	年:	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
		日													
ボルトの緩み・脱落等の有無															
変形・亀裂・腐食等の有無															
油モレの有無															
異音及び異常な振動の有無															
電磁ブレーキの作動状態															
エンドクリップ取付け有無															
ワイヤロープの異常の有無															
ワイヤロープの巻取り状態															
ロープガイドの摩耗状態															
キャブタイヤケーブルの損傷状態															
絶縁抵抗															
マグネットスイッチの作動状態															
チルクライマー取付けの異常の有無															
点検者印															
メモ															